

# 順天大戦 スタメン



パー直撃のFKを放った林堂。

↑ルーキーの平尾は、この日もスタメンフル出場。体を張った守りでチームに貢献した。

## Manager Comment



(結果は) 残念だった。勝とうという意識は順大の方が強かったように思う。シュートは順大より多く打ったし、林堂のFKは入ったかなと思っただけ。雰囲気が悪いということはないと思うが、伝えたい

ことが伝わらなかった。諦めないとか、全力でやるといった駒大のコンセプトをきっちり伝えたいいけない。(厳しい結果だが) 厳しいは厳しいが長い目で。変わる時期は必ずある。経

験もないし、試合も重ねていないので、やられて初めて勉強したということ。(次節は勝ちにこだわってやりたい。最初は厳しいけれど、経験で(チームは)変わる。内容云々よりも、チーム全体

### <第2節終了時順位表>

	チーム名	勝	分	負	得点	失点	差	勝点
1	慶應義塾大学	1	1	0	3	1	+2	4
2	流通経済大学	1	1	0	4	3	+1	4
3	神奈川大学	1	1	0	1	0	+1	4
4	順天大学	1	0	1	2	1	+1	3
5	筑波大学	1	0	1	4	4	0	3
6	早稲田大学	1	0	1	2	2	0	3
7	中央大学	1	0	1	2	2	0	3
8	青山学院大学	1	0	1	2	2	0	3
9	専修大学	0	2	0	1	1	0	2
10	国士館大学	0	1	1	1	2	-1	1
11	駒澤大学	0	1	1	0	2	-2	1
12	明治大学	0	1	1	0	2	-2	1

### <得点ランク>

1 赤崎 秀平(筑波大) 1点  
小井土 翔(早大)  
俣山 翔(青学大)  
河井 陽介(慶大) 他多数

### <アシストラック>

1 西山 峻太(国士大) 1アシスト  
笠松 亮太(慶大)  
藤田 息吹(慶大)  
工藤 隼人(神大) 他多数

開幕から1分1敗。誰がこのような展開を予想しただろうか。昨年、6年ぶりに総理大臣杯を制し、一度は大学の頂点に立った駒大が苦しんでいる。前節では順天大に12年ぶりとなる白星を献上。林堂主将は「能力的には同じくらいで負けていなかった。1人1人の甘さが出た」と悔しそうに振り返る。シュート数では上回りながら、得点を奪うことができない「甘さ」が、結果として勝敗に表れた。

第3節の相手は、開幕戦で国士大に勝利するなど好スタートを切った神大。前節は昨季の王者・明大と引き分けるなど、開幕から2戦連続で完封を達成している。過去2戦のデータから察するに、しっかりとした守備から少ないチャンスをもに作る、いわば良く似たサッカーを展開してきたと予想される。

これに対し駒大は、前線からの激しいチェイシングと縦に速く攻撃を展開する伝統の駒大サッカーを徹底したい。駒大サッカーが徹底されれば勝てる、ということとは過去10年間で実証済み。とにかく自分たちのペースに持ち込みたいところだ。

副主将の濱田は言う。「戦術とかそういう問題じゃなくて、絶対勝ち点3取るという気持ちが大仕事」。気持ちを前面に押し出し、今季初勝利を狙っていく。

## VS 神奈川大学

5月15日 @西が丘サッカー場 13時50分 キックオフ

駒大サッカーを徹底し、勝ち点3を!



Key Player : FW 肝付将臣

次節・勝利の鍵を握るであろう肝付。自慢の高さで攻撃の起点となれるか。